

海外安全対策情報
【定期報告：2022年4月～6月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 2月からタウンシップを中心に銃撃事件が多発していたが、4月から6月は特に Khayelitsha 地区で事件が集中して発生し多くの犠牲者が出ている。
- (2) CBD 中心地での車上狙いや強盗等が増加しており治安の悪化が懸念される。日本人も含め多くの外国人短期渡航者が犯罪に巻き込まれている。

2 邦人被害情報

ケープタウン領事事務所管轄地域の2022年4月～6月における邦人に対する被害の報告件数は5件であった。

- (1) 4月11日15:30時頃、邦人がケープタウン中心街のクルーフストリートを歩行中、スーツ姿でバッジを着用した男に近くのガソリンスタンド敷地内へ誘導されATMの操作を求められた。直前でATM操作を断ったが男は強引にカードを奪いATMへ挿入、暗証番号の入力は頑なに拒否するも、その後仲間と思われる男にも話しかけられ、気を取られた隙にクレジットカードを窃取された。
- (2) 4月17日16:00頃、邦人がケープタウン中心街にある有料駐車場(Riebeeck Square Parking Lot Cape Town CBD)に駐車している自身の車に乗り込み発車準備をしていたところ、第三者に未施錠だった後部座席扉を開けられ、積んでいた荷物を窃盗されそうになったもの。同乗者が直ぐに気づき犯人は諦めて逃走した。
- (3) 邦人が契約する当地銀行からデビットカードの利用通知を受信。所在地から約30km離れた場所(Eerste River)からの利用通知であることからスキミング被害であると判断。すぐに口座を停止させたものの、約16分の間に計4回のショッピングでの不正利用があり9,000ランド強の被害に遭ったもの。スキミングされた場所は不明。
- (4) 5月7日日中、Green Pointにおいて、邦人が居住するアパートに面した路上に駐車していたところ、車上狙いにガラスを割られたもの。当該道路はアパートの警備員が配置されており、ガラスには防犯フィルム貼られていたが一瞬の隙を突き割られたもの。犯人は防犯ブザーの鳴動に驚きガラスを割っただけで逃走した。
- (5) 6月18日、13:00頃、邦人がCBDのBuitenkant Stにある飲食店を訪れる為に有料の路上駐車スペースを利用したところ、白Yシャツを着た男らに飲食店向かいの店舗内ATMで駐車チケットを購入するよう案内された。男らの指示通りにカードを挿入して暗証番号を打ち込むもエラーが表示され、何度か同様操作をしているとカードがATMに取り込まれてしまったとのこと。気がつくとも男らは立ち去っており、その後、

銀行口座から現金が不正に出金されていることが判明した。

3 凶悪事件等の発生情報 ※主要な事件を抜粋

(1) 殺人

- ア 4月4日、22:00頃、Khayelitshaにて銃撃があり3名死亡、2名が負傷した。
- イ 4月8日、23:00頃、Khayelitshaにて銃撃があり2名死亡、3名が負傷した。
- ウ 5月7日、Water front近くのNew Somerset Hospitalにて、勤務で訪れていた警官の銃を強奪した男が無差別に発砲し、警官と患者を含む3名が死亡した。
- エ 5月8日、20:00頃、Khayelitshaにて銃撃があり6名が死亡した。
- オ 5月22日、20:10頃、Khayelitshaにて、黒い服の2人組が突然民家を襲撃し3人の兄弟が死亡した。
- カ 6月7日、Khayelitshaにて商店が襲撃され、ソマリア人4名が死亡した。
- キ 6月23日、ギャング抗争に関連した銃撃が複数箇所が発生。Delftでは住宅から20代の男性2名、女性1名が死亡、Lavender Hillでは16歳の少年が死亡した。また翌24日にも同じくLavender Hillで銃撃があり男性1名が重傷を負った。
- ク 6月25日、Tulbaghにおいて、男女複数名が集まっていた住宅に何者かが突然押し入り発砲、4名が死亡した。

(2) その他

6月10日、燃料費高騰に対する全国的な抗議行動「ナショナルシャットダウン」が呼びかけられた。警察等が警戒を強め大きな騒乱にはならなかったものの、ParowやElsies Rivierなどの一部の地域でタイヤに火をつけて道路を封鎖するといった抗議行動が見られた。

4 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

在留邦人やたびレジ登録者に対し、「領事事務所からのお知らせ」として安全対策情報を発信している。

(2) 治安機関への申し入れ

邦人被害に関して、治安機関への捜査推進と犯罪ホットスポットの警ら強化の申し入れをおこなった。

(3) 語学留学生に対する治安ブリーフの実施

当地語学学校と連携し、新たに入学した邦人を都度訪問し、治安に関する個別ブリーフィングを実施した。